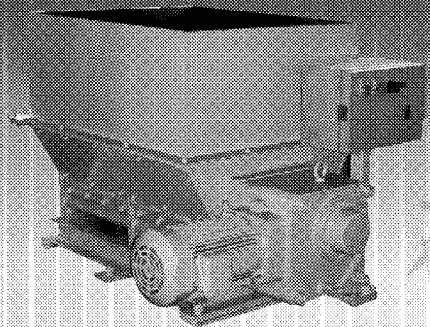


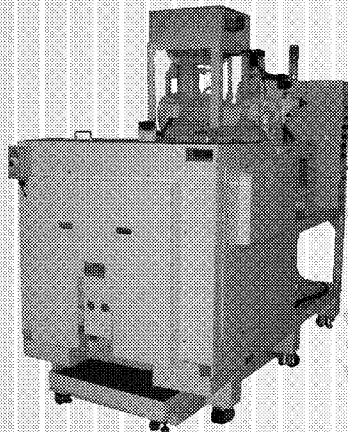
破 碎 機

(搬送コンベア付)



圧 縮 機

(切粉・スラッジ固形化)



機械加工 環境負荷解決

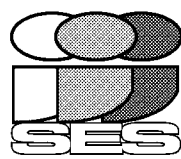
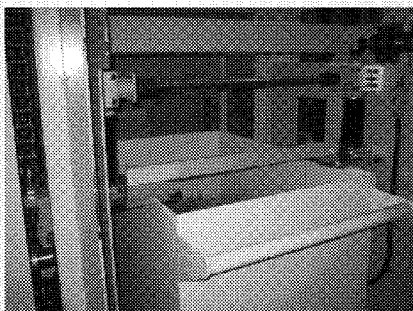
弊社の機器は、生産工場に置いて生産性向上・環境改善に役立つものです。

国内唯一、破碎機・圧縮機を備え切粉及び研磨スラッジ処理の総合システムメーカーです。

ご一報をお待ち致します。

大型反転リフター

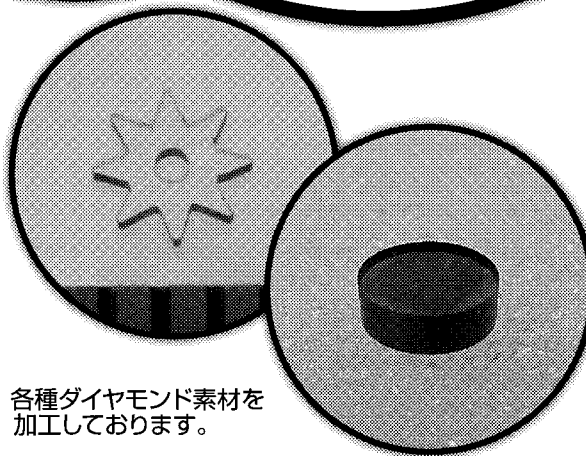
(台車寸法調整機構付)



三 愛 エコシステム
SAN-AI ECO-SYSTEM co.,Ltd

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷677-3
TEL:046-290-0106
FAX:046-248-0185
http://www.san-ai-eco.com

ウチの
ライバルは、
工業用ダイヤモンドを
有効に使っている
らしいぞ!?



各種ダイヤモンド素材を加工しております。

ダイヤモンドの素晴らしさは、

美しさだけではなく。

最高の硬さ・赤外特性・耐蝕性・

熱伝導性・電気特性など

今や超精密加工や大量生産において、

かかせない工業素材です。

用 途

- ・超精密切削工具
- ・光学用プリズム
- ・長寿命工具
- ・圧子
- ・耐摩耗部品、金型

現在、
ダイヤモンドを使用されている方
これから使用を考えられている方、
不満点や疑問点など
ご相談をお受け致します。



株式会社シンテック
http://www.syntek.co.jp

〒230-0046 神奈川県横浜市鶴見区小野町 75-1
リーディングベンチャープラザ 2 号館 403 号室
TEL 045-500-6603 FAX 045-501-6605 info@syntek.co.jp

日本を再生

五輪招致



バブル経済の崩壊以降、長い低迷のトンネルから脱しきれない日本。少子高齢化の進展や新興国との競争激化、そしてデフレによる市場縮小。明確な成長戦略が打ち出せず、行き詰まる日本に、さらに追い打ちをかけたのが東日本大震災だ。建物の損壊といった直接被害のみならず、原発事故による放射性物質の拡散は、収束の見通しさえ描けない深刻な被害を及ぼし続けている。「安全・安心」を掲げてきた日本ブランドも大きく傷ついた。その立て直しも喫緊の課題だ。課題が山積する一方

で、国政は混迷を極めてい。大震災を乗り越え、次世代へ向けた確固たる展望を示すリーダー不在の中、存在感を増しているのが、巨額の財政規模を誇り、国家の中の「国家」を自負する東京都。真の復興、そして日本再生へ向け、都が発信する「確固たるメッセージ」が、2020年に予定される夏季五輪の招致であり、もう一つが、首都圏の電力の自給能力を高めるための独自のエネルギー政策である。

今年16日、東京都は20年夏季五輪への立候補を正式に表明した。同日付で立候補の意思表明文

書は日本オリンピック委員会（JOC）に提出した。56年ぶりの東京開催を目指す原動力として掲げるテーマが、「復興五輪」。敗戦の焦土から立ち上がった1964年の東京五輪当時と重ね合わせ、「復興の励み」と開催意義を訴える。

6月の都議会の所信表明でも石原知事は6月10日を「戦後の焼け野原から立ち直り、国際社会に復興した姿を映した瞬間であった」と表現した上で、今回の五輪招致について、震災から、必ず立ち直り、9年後の日本の姿を披露するならば、世界中から寄せられた友情や励ましへの何よりの返礼になる」と述べている。

復興世界にアピール

日本ブランド再構築

日本は東日本大震災をいかに乗り越えるのか。それには、単なる被害の修復ではなく、「再起を通じて生活様式や価値観を転換し、次なる日本への道筋をつけるべきだ」と指摘するのは東京都の石原慎太郎知事。成長の旗を振り、これを実現する力を持つのは高い産業集積と、これらに裏打ちされた巨額の財政規模を誇るまさに日本の心臓部である首都、東京。その活力をいま一度、引き出し、真の復興を遂げる施策が問われている。

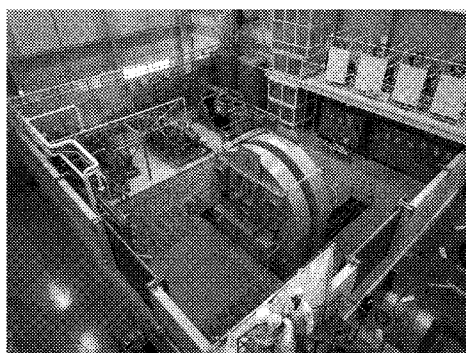


16年開催に向けた招致活動で使われたエンブレム（08年6月）

the metal solution®

HIPテクノロジーで世界をリードする

HIP（熱間静水圧プレス）とは金属粉末の焼結や、溶接が困難な金属同士の接合、それに鋳造品の内部欠陥除去など、モノづくりの基礎をなす重要なテクノロジーです。金属技研はこのHIP装置を1984年より導入し、昨年は世界最大級HIP装置「Giga-HIP」を稼動させて、さらなる金属の可能性を切り拓きました。



Giga-HIP

このように、金属工学の研究グループが創業した金属技研は、金属熱処理、接合、HIP処理など様々な特殊技術をモノづくりの基幹として、上流から下流まで一貫した機械加工技術と融合することによって、受託加工を行なっています。液晶・半導体分野からエネルギー分野、さらには航空・宇宙分野まで幅広く手掛け、一般企業はもとより研究所や大学にも高度な金属加工技術を提供しております。

これからも金属技研はHIPテクノロジーをはじめとする高い技術力をもって、社会・人・暮らしへの貢献を通じて、皆様に愛され、信頼される企業を目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。



金属技研株式会社

本社／〒164-8721 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー 27 階 TEL：03-5365-3050(代) FAX：03-5365-3055
群馬工場／茨城工場／千葉工場／神奈川工場／滋賀工場／姫路工場／テクニカルセンター／上海連絡事務所

このホームページをダウンロード

金属技研

検索

www.kinzoku.co.jp